

那覇港輸出貨物増大促進事業（船社対象）における船社の選定について

那覇港管理組合では、国際航路の拡充と国際貨物の増大を図る取り組みの一環として、平成 30 年 7 月 18 日から那覇港輸出貨物増大促進事業（船社対象）の平成 30 年度第 1 期の公募を開始しております。

このたび、下記のとおり、実証実験として、新たな国際航路を開設する外航船社 1 社を選定いたしましたので、お知らせいたします。

本船社は、新規の国際航路の開設として、現在那覇港に寄港している航路を再編し、那覇港とベトナムのホーチミン、上海、東京などを結んでいた既存航路に、香港を追加し、那覇から香港へダイレクトに輸出できる航路を開設いたします。

なお、本実証実験は、8 月 7 日の那覇港寄港から開始予定であり、第 1 期として 11 月末まで実施し、その後、第 2 期として 12 月から平成 31 年 3 月 31 日まで継続する予定となっております。

那覇港管理組合としましては、この新規の国際航路の開設により、那覇と香港を 2 日程度で結ぶことが可能となり、これまで 4~7 日程度かかっていた香港までのリードタイムが短縮され、県内企業の輸出機会の増大、新規貨物の創出が期待できるものと考えております。

記

1. 外航船社：上海海華船輪有限公司（HASCOCO：ハスコ）
2. 代理店：有限会社 沖縄国際海運（申請者）
3. 航路名：HASCOCO CJV 航路
4. 航路：ホーチミン→香港→太倉→上海→東京→横浜→太倉→上海→
→那覇→香港→ホーチミン
(週 1 便、毎週火曜日に那覇寄港、翌水曜日に香港寄港予定)
5. 支援内容：新たな国際航路の開設により増加する燃料費及び港費
6. 本実証実験の取扱貨物量の見込みと目標

初年度に那覇・香港間で 1 寄港あたり約 20TEU の輸出・輸入貨物を見込んでおり、これにより、同航路における那覇港からの輸出貨物については、香港寄港開始前と比較して約 1.5 倍に増加することを見込んでいる。また、3 年後には那覇・香港間で 1 寄港あたり 2 倍の約 40TEU まで増加させることを目標としている。

【担当】

那覇港管理組合企画建設部

企画室 前村、上江洲

TEL:098-898-4544

FAX:098-862-4233

【参考：那覇港輸出貨物増大促進事業（船社対象）の公募について】

1. 公募期間：平成30年7月18日（水）～10月10日（水）
2. 補助期間：補助事業開始～平成30年11月30日（金）（※）
3. 対象事業者：外航船社またはその日本代理店
4. 支援の主な概要（詳しくは別添の公募要項をご覧ください）

以下の支援について、那覇港管理組合と那覇国際コンテナターミナル株式会社（NICTI）が共同で実施いたします。

① 新規の国際航路の開設

1 寄港あたり最大150万円の補助、岸壁使用料180日間免除（条件により補助額などが異なります）

② 国際トランシップ貨物の取扱

コンテナ1本あたり12,000円の補助、ヤード保管料の免除

※第2期の補助期間として平成30年12月1日（土）～平成31年3月31日（日）を予定

【参考】

事業名：那覇港輸出貨物増大促進事業（船社対象）

事業期間（実証実験）：平成30年度から平成33年度の4年間を予定

予算・規模：沖縄振興特別推進交付金（4年間で約4億5千万円を予定）

今回申請された新規の国際航路(既存航路の再編による)

[イメージ]

